

2018年

ホームページへGo!→
スマホで教室だよりが見られます

教室だより 12月号

年越しそば

大晦日の大イベントといえば、やはり「年越しそば」ですね。

大晦日にそばを食べる風習は、江戸時代から続いているといわれています。

なぜ「そば」なのか?……には諸説ありますが、そばは食べている最中に切れやすい食べ物であることから「一年の厄を断ち切る」という意味が込められているという説が有力なようです。それ以外に、細く長く生きられるように「健康・長寿」を願うという意味もあるようです。では、いつ年越しそばを食べるのか?

年越しそばを食べるタイミングは、厳密には決まっていないようですが、年越しそばを食べる理由が一年の厄を断ち切る意味合いですので、昼よりも夜がよいようです。

ですので、夕食として年越しそばを食べても、除夜の鐘を聞きながら食べても、問題なさそうです。

また、そばであれば、冷たくても温かくてもよく、具材も特に決められたものはないようですが、縁起物として、えび(腰が曲がるまで長生きできるという意味あい、長寿の象徴として)、ねぎ(「労をねぎらう」からの語呂合わせ)、油揚げ(神様の使いであるきつねからの連想で、金運・商売繁盛を願って)を入れる方もおられるようです。一年をふり返りすがすがしい気持ちで新年を迎えるために、一年を締めくくる風習も大切にしたいですね。

公文式の創始者・公文 公(くもんとおる)先生の言葉より

“個人別の「ちょうど」の学習だから、たくさんの「できる」を体験できる”

「うちの子はちっともやる気がなくて」とこぼす保護者の方がいます。

実は、子どもは本来、自分が楽にスラスラできることには喜んで取り組みます。反対に現在の自分にとって難しすぎることには、なかなか意欲的に学習に取り組めるものではありません。

また一斉授業では、その子どもにとって「どこまでがわかっていて、どこからがわからないのか」「どこまではきちんとできるが、どこからがあいまいなのか」といったことを個人別に把握することはほとんどできないのが現状です。

公文式は一人ひとりに「ちょうど」の教材を与えます。ですから「楽にできる」「どんどんできる」体験を積み重ねることによって、「もっとやりたい」「次の段階に進みたい」という気持ちをもつのです。そして、この気持ちをもった子どもなら、次の段階を与えるだけで、必ず順調に伸びていけるのです

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 天徳誕生日	24 祝日	25	26	27	28	29
30	31					

本市場教室日□

横割教室日△

保護者様へお願い。

お休みのときは電話でもメールでも結構ですので連絡をお願いします。

12月分の会費引き落としは11月28日(水)です。よろしくお願いいたします。

(注)休会・退会の場合は、引き落としの関係から15日までにお申し出下さい。

教室からご家庭に連絡される生徒さんの場合は固定電話・指導者携帯電話・メール等はいずれも10円納入願います。

*学習終了後、学校の宿題をやってもかまいませんが、おしゃべりしたり、だらだらやる子は、即退出してもらいます。ご了承ください。

*ゆき子の一言コラム

2020年、日本の教育が大きく変わります。その柱となるのは、現在の大学入試センター試験に代わる新しい試験制度の導入、小学校における英語を中心とした外国語教育の強化、そして、やはり小学校からのプログラミング教育の必修化です。2020年に学校教育にプログラミングが導入される背景として、2030年には国内のIT人材が59万人不足するという予測があります（出典：経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」）。こうした動きは日本だけで見られるものではなく、例えば米国では、オバマ政権下からSTEM教育（STEMはScience、Technology、Engineering、Mathematicsの頭文字）の強化が進められてきました。今後、プログラミング教育は加速することはあっても、停滞することはないでしょう。このプログラミング教育は、多くの大人にとって未知の分野。受験や外国語教育は経験があっても、プログラミングに関しては未経験で、我が子にプログラミングを教えられるのか、今から不安を覚える親世代も少なくないはずで。

現代の子どもにとってITは武器でありリテラシー（読解記述力）

近い将来、IT系の人材不足が心配されているということは、IT系のスキルがあれば、より良い職業を選択できるということです。「ここでITのことがとても好きになった子の中には、将来、AIなどを学べる大学へ進みたいという高いモチベーションで受験に臨み、その先で、アマゾンやグーグルのような第四次経済成長を牽引する企業で働く子も出てくるでしょう。ITを知っているということは、グローバルな仕事ができる武器を持つことでもあります」

しかし、すべての子どもがエンジニアになるわけではありません。「IT企業で働かなくても、他の好きな仕事にITの知識やスキルを生かすことはできます。FinTechという言葉があるように、金融の仕事にもITは密接に関わります。スポーツの世界でも、データ分析が当たり前になってきました。10代のうちにITをたしなみ最低限のリテラシーを身につけ、学ぶことの楽しさやチームワークを体感しておくことは、お子さん一人ひとりの将来の選択肢を増やし、幸せになる確率を上げることです。「小中学生の多くは、パソコンとは何ができるツールなのかが、まだ分かっていないことが多いので、ゲームをしたり動画を見たりと受け身の使い方だけをしてしまいがちです。それだと、スマートフォンやタブレットを使うのと同じになってしまいます。また、プログラミングスキルを身につけてほしいと考える親御さんも、お子さんが自室にこもってパソコンと向き合っただけで、とはなってほしくないはずで。なので、お子さん一人でパソコンを使わせることはせず、親御さんと一緒にパソコンを使うことです。『使うときはリビングで』などのルールを設けることも大事です。まずはプログラミングなど、スマートフォンではできないパソコンだからできるIT系のものづくりの楽しさに触れ、興味を持ってもらうことから始めてみてはどうでしょうか」

中学生について

中学1年では「1次方程式の活用」、「比例・反比例」、英語では「3人称単数の一般動詞」などを学習することになり、ここから、多くの生徒が苦手意識を持つ単元になります。これらの単元を苦手としないためにも学習したところの早めの理解が必要となります。公文プリントでの進捗では、F以上になりますが、早い子は小4で進む子がいます。ここまでやっておけば、中学生になっても、すんなり授業についていけることでしょう。ただ、子どもは忘れるのも早いものです。繰り返し繰り返し復習することで理解度がアップします。が、公文をやっているから今学校で学習している教科は、やらなくてもいいという考え方では、学校のテストで高得点は無理でしょう。公文は、自学年やそれ以上の学年を進んでいくシステムですから、今の学校の自分の学年の問題はしっかり自学自習して、公文を並行していかなければ学校の成績は上がりません。先の学習をやる意味は、中学、高校に進んでからわかってきます。学校の成績が落ちたから、公文辞めて他の進学校へ行きますとは言語道断です。今まで公文で頑張ってきた意味がなくなってしまう。これは、若い親の焦りが見えていますが、それまで続けていたお子さんの身になって考えていないと思います。大事なことは、公文で身につけた自学自習を生かし、学校の勉強をしっかり行い、さらに公文の学習を確実にやれば絶対に大丈夫です。

公文では、要点問題において単元で理解しておくべき必修事項を、要点のまとめなど参考にプリントを行います。この時、覚えておくといふ重要事項なども覚えるようにします。基本問題のプリント終了後に、要点の理解度をチェックするために時間を計りすぐ採点を行います。採点后、間違いがあった場合は間違いなおしをした後、間違った要点の類題を再度テストします。理解度に合わせてこれを繰り返します。要点が理解できたなら、標準問題~応用問題の演習を行います。テストに出やすい標準的な問題にあたり、基礎力を固めることができます。

*教室での決まりごと。

①はきものはきちんとそろえよう！ ②あいさつは おおきなこえで はっきりしよう！ ③もちものには なまえをかきましよう！④でんわをかりたら かならず でんわ代10えん いれてください！